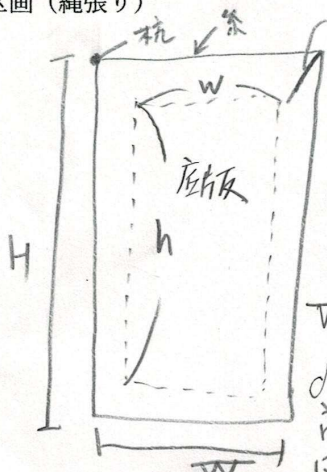

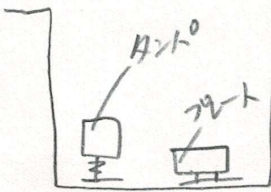
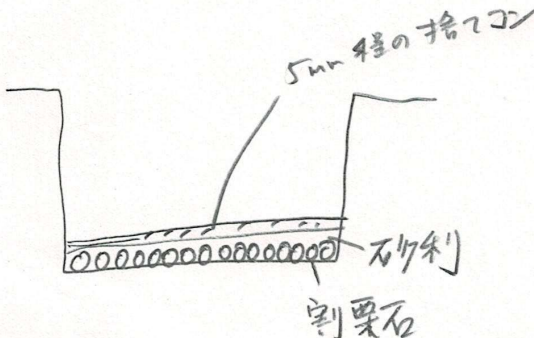

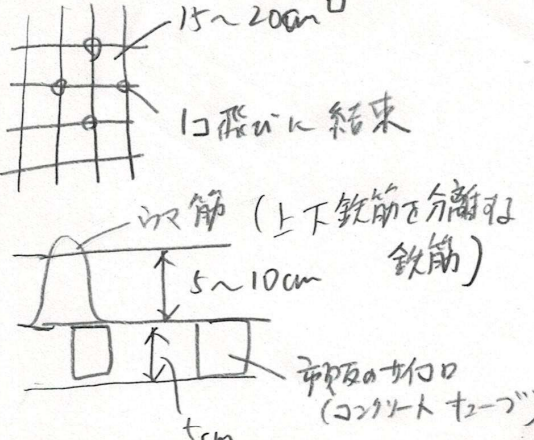
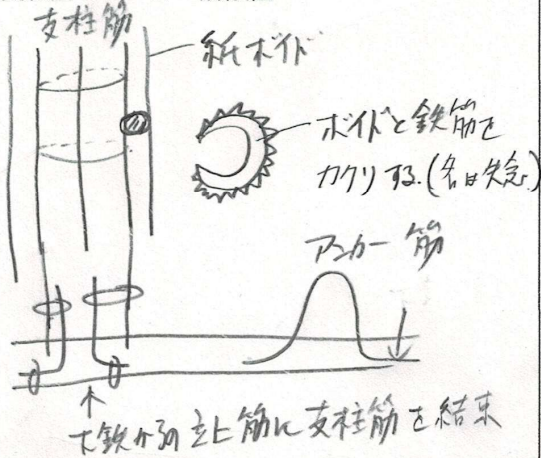


【浄化槽の設置方法】

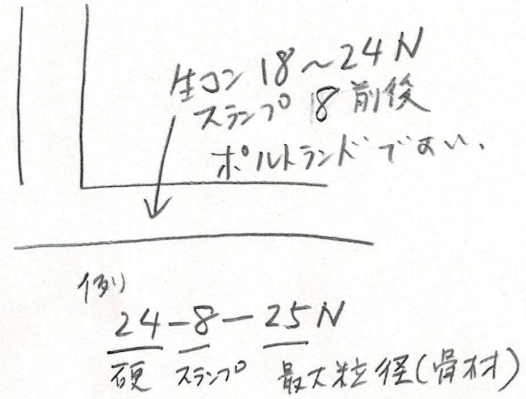
浄化槽の設置方法を以下に示す。なお、原則として、浄化槽設備士の指導下で行うこと。

<p>1 区画（縄張り）</p>  <p>深さ 根切角度を 60°とすると $H = h + \frac{d}{\tan 60^\circ}$ $= h + \frac{2}{\sqrt{3}}d$ $W = w + \frac{2}{\sqrt{3}}d$ dはスラブ底版 高さ+浄化槽高 に10~20cm増</p>	<p>2 掘削（根切）</p>  <p>バックホー 届かない時は ゴクラを付ける めに注意、崩れるので、バックホー 運転手の意見を尊重すること。</p>
<p>3 地盤整正</p>  <p>レベル プレート等 地盤を整均 する。</p>	<p>4 割栗石・砂利敷設</p>  <p>5mm程の捨てコン 砂利 割栗石</p>
<p>5 底版型枠</p>  <p>×2本 15~20cm 型枠技能工の 有資格者による 施工が望ましい 捨てコン上に底版の墨出しを する。</p>	<p>6 鉄筋敷設</p>  <p>15~20cm 10飛出しに結束 鉄筋（上下鉄筋を分離する 鉄筋） 5~10cm 5cm 型枠の枠（コンクリート）</p>

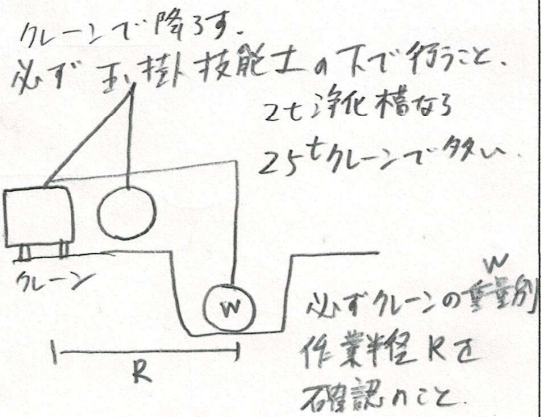
7 支柱筋・アンカー筋設置



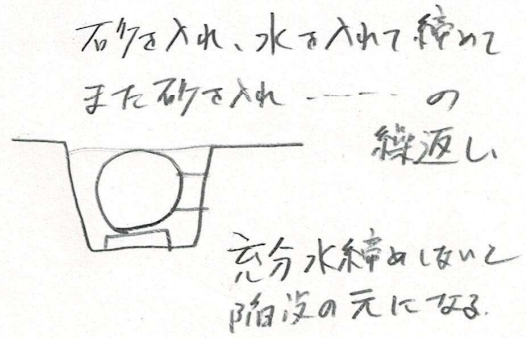
8 生コン打設



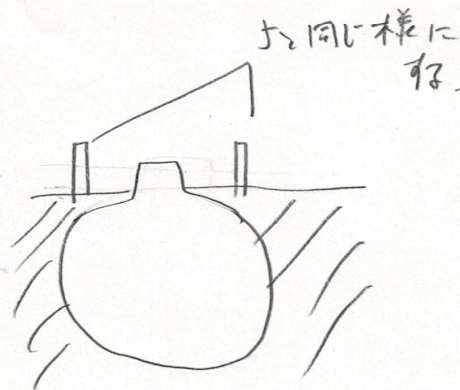
9 浄化槽設置



10 埋め戻し・水締め



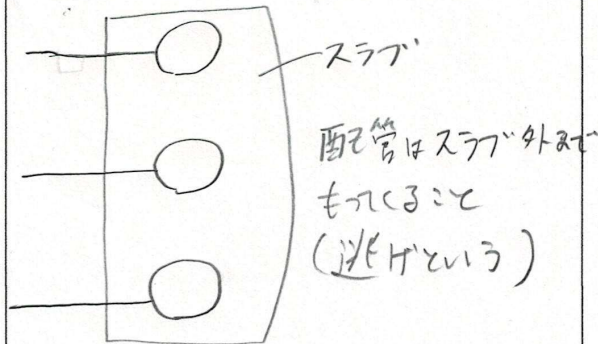
11 スラブ型枠



12 スラブ鉄筋敷設

6ヶ同じ

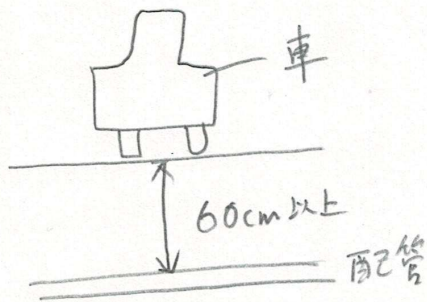
1 3 配管設置・接続



1 4 スラブ生コン打設

8と同じ

試運転調整や維持管理は別稿で示す。



配管と離れた機械室に
 ともく時、車道を通過する
 60cm以上 余裕があること。
 また配管はHVPを
 望ましい。